



溶解時にチタンスクラップ
を50%以上添加したチタン
インゴットより製造

チタン線材TranTixxii® -Eco Titanium Wire Rod【TranTixxii®-Eco】



メガネフレーム (写真提供: ヤマウチマテックス)

Snow Peak製
マグカップ (取っ手)



算定単位

1t

算定対象段階

最終財 中間財

製造段階 (原材料調達、原材料の輸送、製品の製造)

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：東日本製鉄所、九州製鉄所

主な規格：JIS H4650, H4670, ASTM B348, B863

日本製鉄独自規格 (詳細はELシート 備考欄に記載)

形状：線材コイル

主な寸法 (単位mm、) = 6.0 ~ 15.5

登録番号	JR-BZ-24004E
適用PCR番号	PA-201590-BZ-03
PCR名	チタン製品 (中間財)
公開日	2025年1月10日
検証合格日	2024年12月2日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-BZ-24004
検証有効期間	2029年12月1日

PCRレビューの実施

認定日等	2023年9月1日
委員長	山岸 健
	一般社団法人サステナブル経営推進機構

第三者検証者*

外部検証員 阿藤 崇浩

ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの
独立した検証

内部 外部

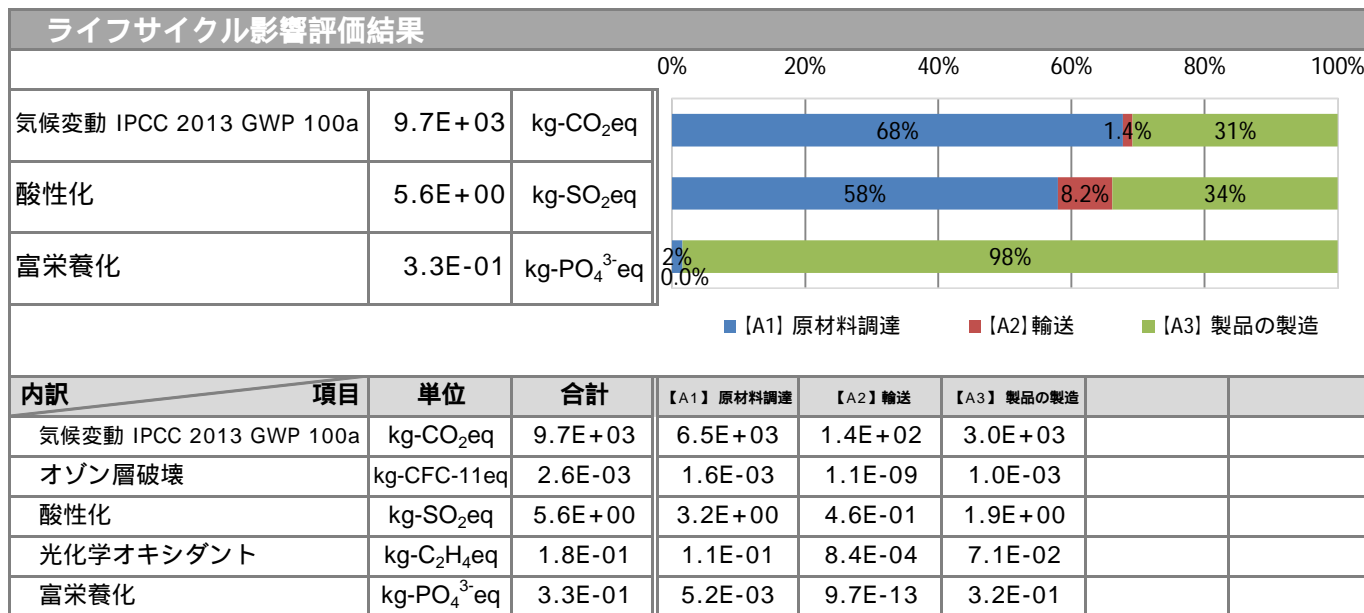
*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った
審査員の名前を記載。

問い合わせ先

日本製鉄株式会社 チタン事業部 チタン企画室

TEL：03-6867-5624

<https://www.nipponsteel.com/>



ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	単位
再生可能エネルギー	4.1E+03 MJ
非再生可能エネルギー	1.5E+05 MJ
再生可能資源	3.3E+02 kg
非再生可能資源	6.7E+02 kg
淡水の消費	3.9E+01 m ³

材料及び物質に関する構成成分

材料・物質 (使用部分)	単位
チタン[Ti]	99 %
炭素[C]	0.08 %
水素[H]	0.015 %
酸素[O]	0.40 %
窒素[N]	0.05 %
鉄[Fe]	0.50 %

純物質としての数値を記載

廃棄物関連情報

項目	単位
有害廃棄物	0.0E+00 kg
無害廃棄物	3.6E+02 kg

ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

算定結果に関する追加情報

1) 輸送シナリオは、PCRに従った。コークス及び中間製品の工場間輸送は、地図ソフトで距離を計測して用いた。チタンスクラップの輸送はPCRシナリオの500kmを選択した。チタン鉱石、合成ルチールの輸送は、原単位に含まれているため ライフサイクル影響評価結果の【A2】輸送には含まれていない。

2) 一次データは、2022年度の実績値を使用した。電力原単位は「電力、一般電気事業者10社平均、2014年度」を使用した。

- 1. その他の環境関連情報

ISO14001認定工場で製造している。

-2. 有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
—		

使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3 を使用した。ルチール（チタン鉱石）、チタンスラグ（合成ルチール）の原単位は、それぞれIDEAv2.3のルチル精鉱・チタン精鉱および合成ルチル・チタン精鉱を使用した。

備考

○主な日本製鉄独自規格

Super-TIX®800N、Super-TIX®51AF、Super-TIX®523AFM、SSAT®-2041CF

○TranTixxii®-Eco（トランティクシーエコ）について

チタンインゴットの原料としてチタンスクラップを50%以上添加することにより、製錬工程においてCO2発生量を大幅削減

データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。

比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。

（参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>）